

宮城県地域医療構想の現状について

大崎・栗原区域

宮城県地域医療構想の現状について 目次

- (1) 病床の機能分化・連携の議論の進め方について
- (2) 病床機能報告結果から見る医療提供体制の現状について
 - ① 令和5年度病床機能報告状況について（全国）
 - ② 非稼働病床の現状について（全国）
 - ③ 病床機能報告の経年変化と必要病床数について（大崎・栗原）
 - ④ 主な入院基本料等別×病床機能別の病床数について（大崎・栗原【病院】）

(1) 病床の機能分化・連携の議論の進め方について

① 今後の医療需要

毎年度の病床機能報告
制度による集計数

比較

地域医療構想の**必要病床数**

単純比較できない点に注意

② 地域医療構想調整会議での協議

足下の医療提供体制と今後の医療需要を踏まえつつ、日常の診療や業務を通じて感じる地域の課題を共有する

課題解決に向け、**地域で不足すると考えられる医療機能や役割**について議論

③ 医療機関における自主的な取組

調整会議で得た地域のデータや課題を踏まえ、**今後自院が担うべき医療機能・役割**を検討（病床の機能分化・連携）

(2) 病床機能報告結果から見る医療提供体制の現状について

第15回地域医療構想及び
医師確保計画に関するWG

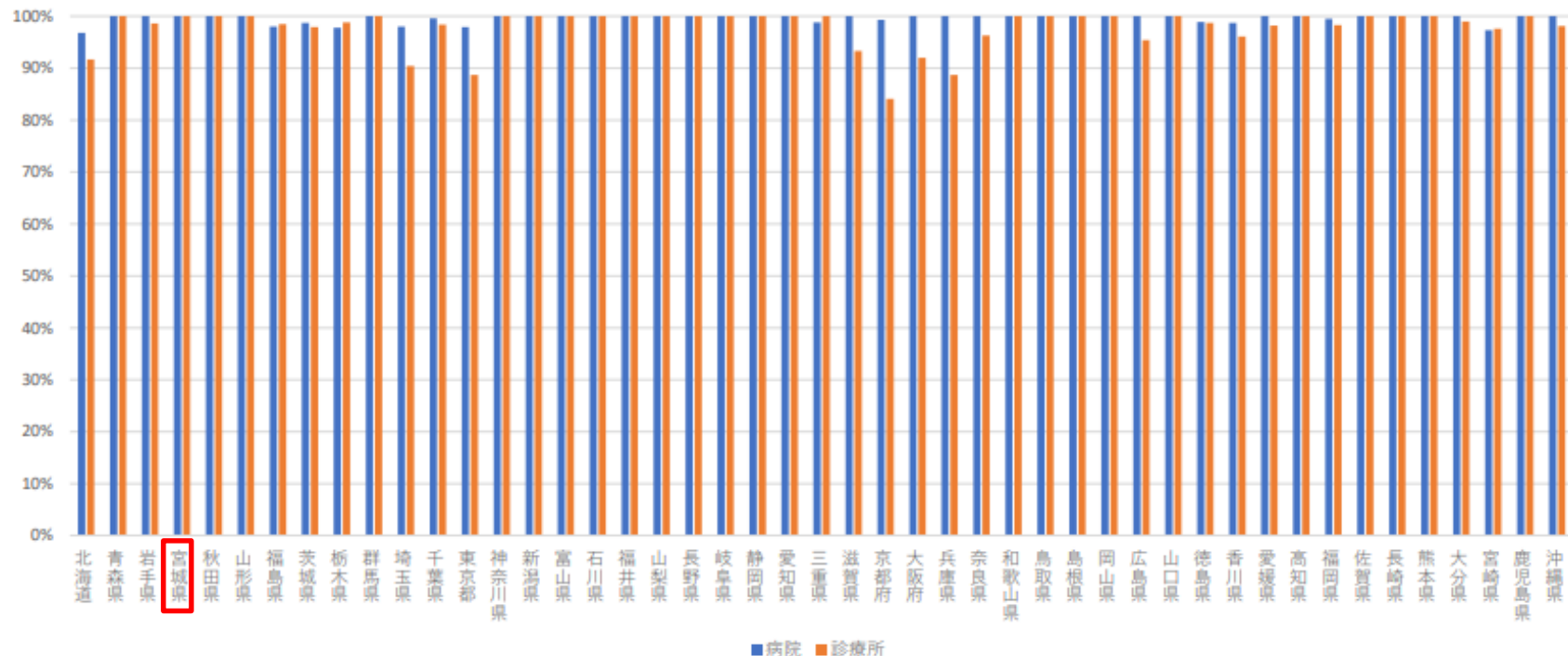
令和6年7月10日(水)

① 令和5年度病床機能報告状況について(全国)

- 報告率は98.4%(病院:99.3%、有床診療所:97.2%)であり、過去と比べてわずかに向上した。(2021年度:96.8%、2022年度:96.7%)
- 令和5年3月の通知(※)で示したとおり、報告率が100%でない場合には、地域医療構想における対応方針の策定の前提となる、地域における医療機能の現状と将来の見込みを正確に把握できないことから、都道府県は未報告医療機関に対して、期間を定めて報告するよう命ずる等の適切な対応が求められる。

※「地域医療構想の進め方について」(令和5年3月31日付け医政地発0331第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

病床機能報告の報告率



(出典) 令和5年度病床機能報告

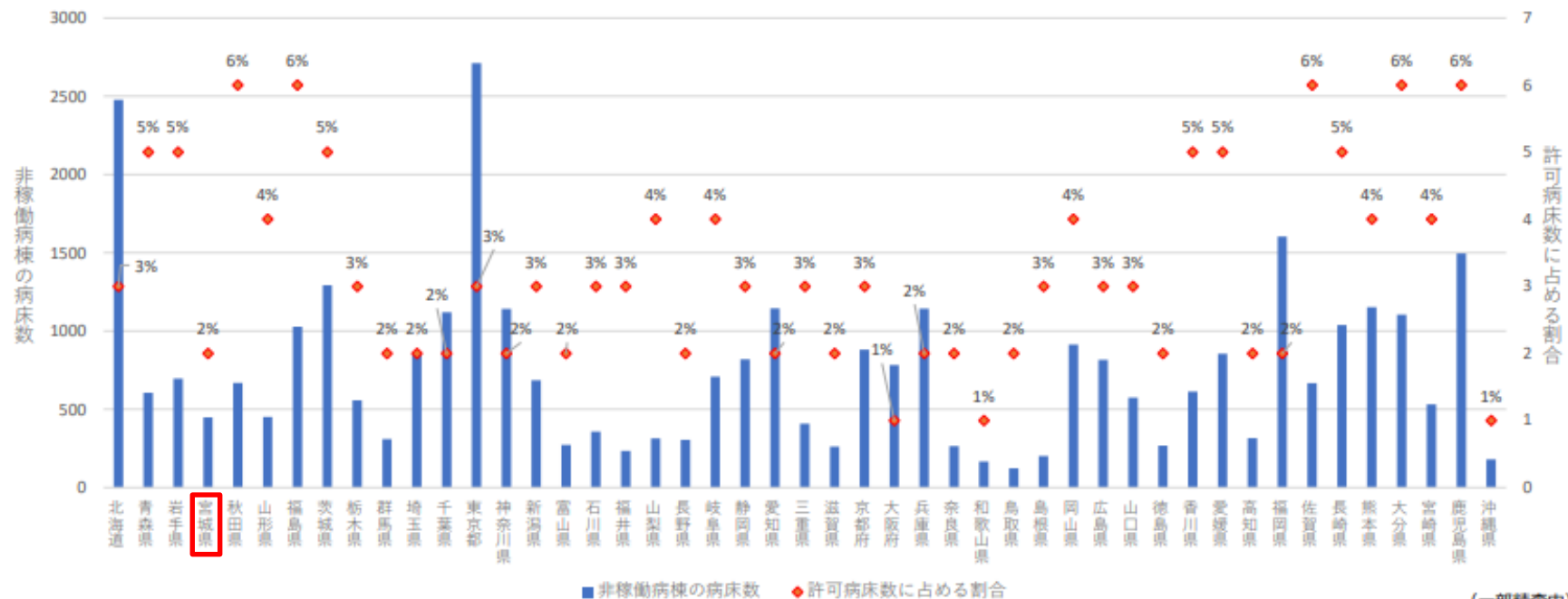
(一部精査中)

(2) ② 非稼働病棟の現状について（全国）

- 2023年度病床機能報告において、病棟単位（有床診療所の場合は診療所単位）で休棟と報告されている病床は35,571床存在した。
- 非稼働病棟の病床数は都道府県によってばらつきがあるが、病床機能報告上の許可病床数に占める割合として、最大の都道府県は約6%であった。
- 非稼働病棟に対しては、令和5年3月の通知（※）で示したとおり、都道府県は必要に応じて地域医療構想調整会議において詳細な説明を求め、十分に議論する等の適切な対応が求められる。

※「地域医療構想の進め方について」（令和5年3月31日付け医政地発0331第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）

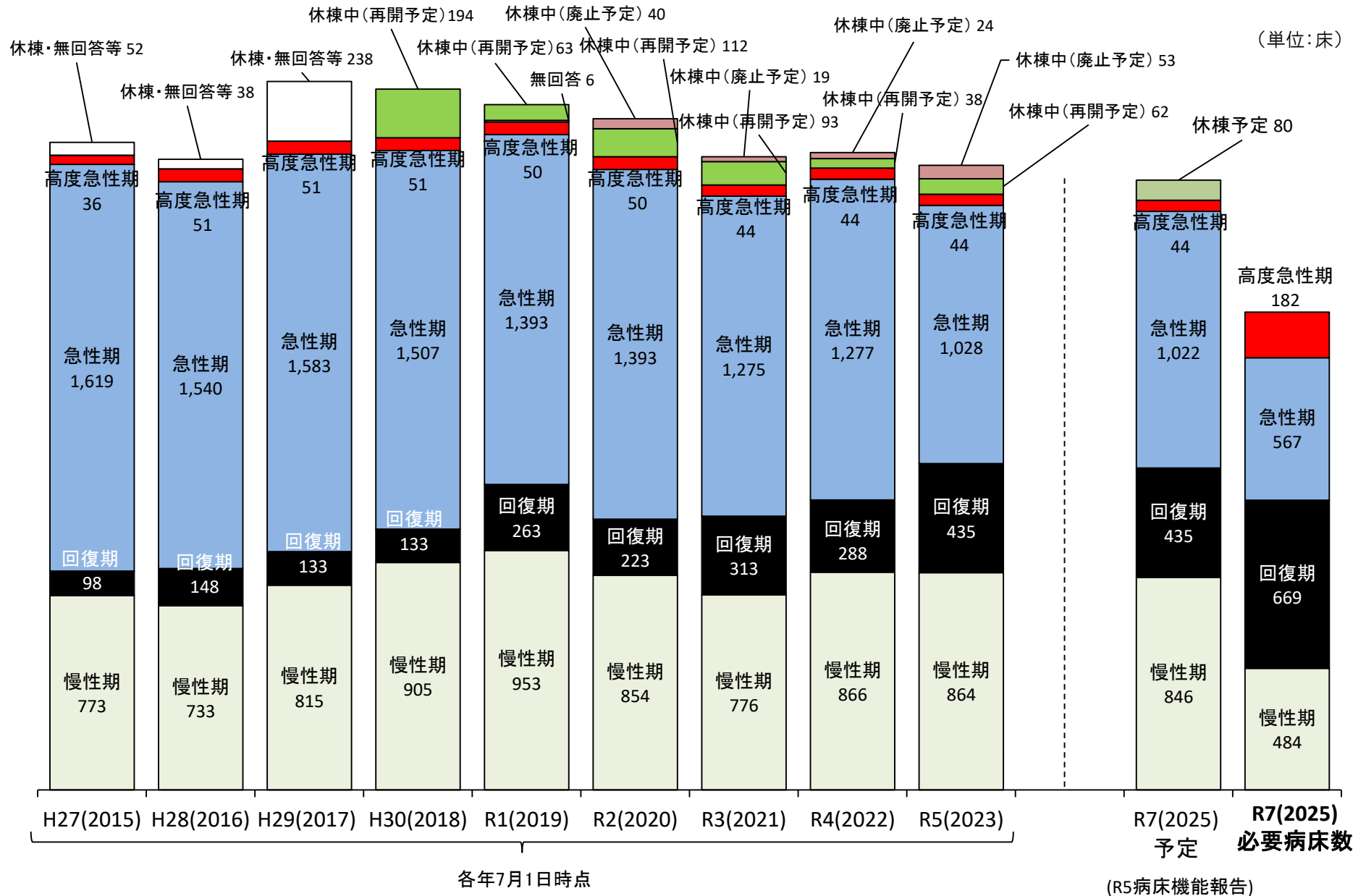
非稼働病棟の病床数



（出典）令和5年度病床機能報告

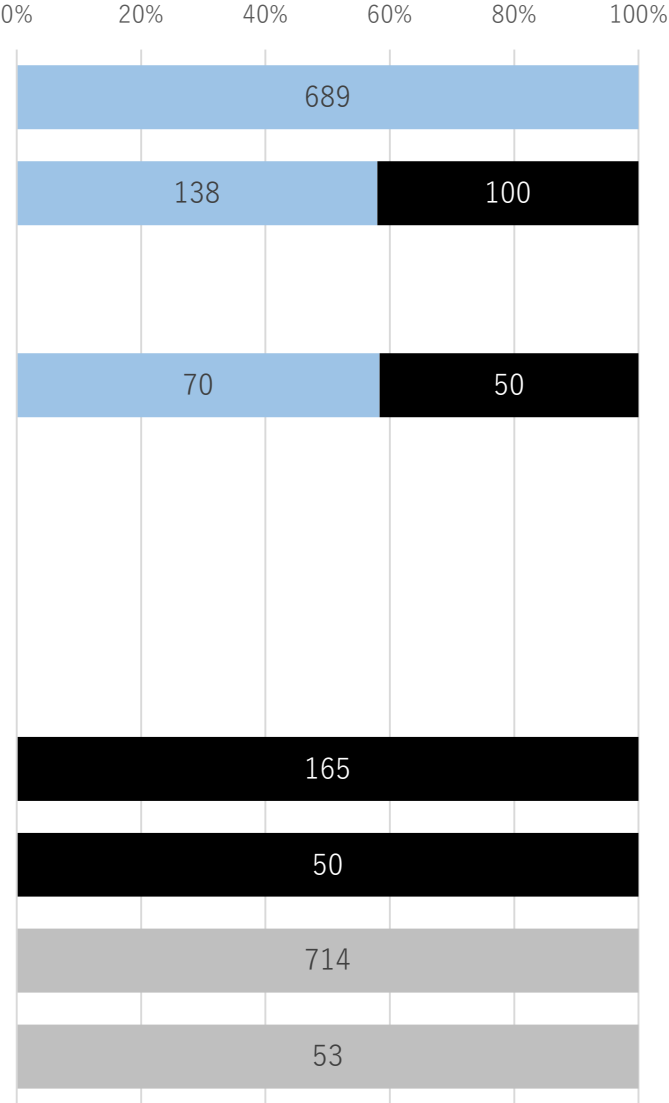
- ※「非稼働病棟」は、病院は病棟単位で休棟と報告されている病床、有床診療所は診療所単位で休棟と報告されている病床を指す。
 ※「許可病床数」は、病床機能報告において医療機関ごとに報告されたものの総和（一般病床及び療養病床のみ）である。

(2) ③ 病床機能報告の経年変化と必要病床数について（大崎・栗原）



(2) ④ 主な入院基本料等別×病床機能別の病床数について（大崎・栗原【病院】）

大崎・栗原区域



全区域

